

SC-IB NEWSLETTER

2026/09/25 発行

I 10・11 月の茨城県連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月日	名称	主催/開設	内容
10月3日 ～4日	Rover Connect Camp	茨城ローバー スカウト協議会	野営活動を通じて交流を深め、共同生活やプログラムを通じて主体性・協調性を養うと共に、利用施設整備の奉仕活動を通じて奉仕の心を育み、今後の活動の活性化を図ることを目的とします。 場所: 高萩スカウトフィールド 「申込締切: 9月27日」
10月4日	第2地区 定型外訓練	第2地区/ 第2地区 指導者養成 委員会	「BS 隊のプログラムプロセスを体験してみよう」と題して開催します。 会場: 県立青少年会館 「申込締切: 9月19日」
10月4日	第5地区 定型外訓練	第5地区/ 第5地区 指導者養成 委員会	「解決! カブ部門のプログラムの進め方」と題して開催します。 会場: 牛久市三日月橋生涯学習センター 「申込締切: 9月27日」
10月18日	第93回 ボーイスカウト 講習会	指導者養成 委員会	指導者導入訓練であり体験を通してスカウト運動の概要とスカウト教育の原理と方法を学びます。 会場: 古河市 「申込締切: 10月6日」
10月18日	第94回 ボーイスカウト 講習会	指導者養成 委員会	指導者導入訓練であり体験を通してスカウト運動の概要とスカウト教育の原理と方法を学びます。 会場: 県立青少年会館 「申込締切: 10月6日」
10月16日 ～18日	JOTA-JOTI 2026	日本連盟/ イベント国際 委員会	JOTA(Jamboree on the Air)-JOTI(Jamboree on the Internet)は、世界スカウト機構(WOSM)が毎年10月に開催する国際交流事業です。世界中のスカウトが無線通信やインターネットを通じ繋がります。
11月1日	第8回 安全危機管理 ステップ2	指導者養成 委員会	事故に至らないような安全の管理、事故が起きた時の対処などを実技を通して修得します。 「申込締切: 10月22日」
11月8日	ウッドバッジ研修所 課程別研修 茨城第10回	指導者養成 委員会	スカウト運動の基礎を学ぶ「スカウトコース」修了者を対象に開かれる部門毎の特徴を学ぶ研修です。 「申込締切: 10月24日」
11月7日	団委員のための 講演会	総務委員会	今回は、国土交通省国土技術政策総合研究所の主任研究官 長屋和宏氏を講師にお招きし「災害から身を守るために」と題してご講演戴きます。 会場: 県立青少年会館 「申込締切: 10月31日」
11月15日	救急法講習会	進歩委員会	一人ひとりが安全意識を高く持ち、様々な状況に備えておくことが大切です。全ての指導者・スカウトが救急法を身に付ける事を目標としています。
11月21日	防災キャラバン	日本連盟/ 地域連携 広報委員会	地域の防災意識向上、子どもたち一人ひとりの備える力を向上させることを目指します。2021年度からは「思いやり防災」をテーマに災害時の多様性についても理解を広げるようにしています。 開催場所: イオンタウン守谷・センターコート

11月21日 ～23日	全国スカウト フォーラム	日本連盟 プログラム 委員会/ 運営委員会	スカウト個々が自己の成長をはかり、幅広い社会性を身につけ、相互の理解を深めるための貴重な機会を提供することを目的とします。 今回のテーマは「高校生年代×地域社会～私たちだからできること～」です。 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
----------------	-----------------	--------------------------------	--

※各種事業の参加申込締切にご留意ください。地区コミッショナーや団委員長は各指導者の、また各隊長はスカウトの参加申込について、フォローの程宜しくお願い申し上げます。

II 県連盟からのお知らせ

1. 第14回日本アグーナリー(14NA)について（宮田理事長）

日本連盟 中橋事務局長・14NA 準備委員会 木村委員長から第14回日本アグーナリー(14NA)会場・会期についてお知らせを戴きました。

会場：熊本県・国立阿蘇青少年交流の家
会期：2028年8月9日(水)～13日(日)

関係各位へのご周知、および大会へのご理解とご協力についてご高配戴きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、本件に関する日本連盟事務局へのお問い合わせは下記の通りです。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局 アグーナリー担当 山田 哲司
〒167-0022 東京都杉並区下井草 4-4-3
電話: 03-6913-6262(代表)
FAX: 03-6913-6263
E-mail: 14na@scout.or.jp

Ⅲ 各種委員会よりのお知らせ

1. イベント国際委員会（園部委員長）

1-1) 茨城県連盟スカウトフォーラムを開催

第 26 回全国スカウトフォーラムに先立ち、茨城県連盟においても9月6日(日)に県連盟のスカウトフォーラムを開催いたしました。

「高校生年代×地域社会～私たちだからできること」というテーマで、各地区で実施された地区フォーラムの採択事項を持ち寄って、茨城県連盟として協議しました。

当日は各地区からベンチャースカウト15名が集まり、活発な議論の結果、近年災害が多発しているので子供たちに防災に関心を持ってもらう、また外で遊ぶ機会が減少している事などから、もっと身体を動かしてもらおうという事をふまえて、採択事項は下記のとおりとなりました。併せて全国スカウトフォーラムに出席する代表スカウトも選出されました。

採択事項： わくわく自然体験にベンチャーとして参加し、独自のプログラムを展開する。
子供たちが身体を動かしながら防災に関心を持ってもらうようにゲームなどを企画して体験してもらう。

代表スカウト： 鵜飼悠生さん 水戸第2団ベンチャー隊

11月21～23日に東京で開催される第26回全国スカウトフォーラムに、採択事項を持って代表スカウトが参加します。



1-2) IB グランプリ2026の開催について

7月に第一報をお送りしましたが、下記のとおり IB グランプリを開催いたします。そろそろ地区の大会も開催されることと思います。今年の栄冠は誰に輝くでしょうか。

IB グランプリ2026概要

期日： 12月6日(日)

会場： 笠間市旧東中学校 体育館（笠間市福田 906-6）

詳細は追ってご連絡します。

2. 地域連携・広報委員会（富田委員長）

2-1) 2026年度「スカウトの日」実施速報集計のお願い

今年度のテーマは、「出動！キラまち隊！～人と地球によりよい未来を～」です。

県連盟では各地区、各団・隊での実施結果の速報集計を実施中ですので、実施内容と活動時の写真等につきまして、各地区の地域連携広報委員長へご連絡の程お願い申し上げます。

9月25日以降に活動を予定されている団・隊は、予定日のみご連絡ください。また、活動後に実施結果を各地区地域連携広報委員長へご連絡戴けますと幸いです。最終的には1月発行予定の機関誌「Scouting 茨城 vol.58」に掲載させて戴く予定です。

速報集計や実施内容は、理事会を通して茨城県や振興議員連盟に報告され、各市町村の団がどのような活動をしているか、ご関心のある地域の皆さんへの報告ともなります。

2-2) 撮っておきの写真コンテスト&カレンダープロジェクトご協力のお願い

令和8年度「撮っておきの写真コンテスト&茨城県連盟カレンダープロジェクト」に多数ご応募戴き有難うございました。おかげさまでスカウティングの楽しさが伝わる約40点の写真が集まりました。

今後選考を行い、優秀作品の選出を行いますが、2027年度のカレンダーにもできるだけ沢山の応募作品を掲載したいと考えております。結果発表とカレンダー予約につきましては、今暫くお待ちください。

2-3) JOTA-JOTI 2026 撮参加予定局の把握・事前登録のお願い

日本連盟より、JOTA-JOTI 2026 の参加予定局への案内がありましたので共有します。

開催日程：2026 年 10 月 16 日(金)～ 10 月 18 日(日)

申込：Google フォームにて事前申込(両方実施する方はそれぞれ登録が必要です)

JOTA <https://forms.gle/hmsj5VV7kZtvJAWT6>

JOTI <https://forms.gle/5g6eJpaxJxCfgR6W8>

登録申込締切：10 月 9 日(金) 17:00

- ・参加・運用予定局の情報をご登録戴き事前にリスト公開することで、スカウト同士の交信をバックアップします。

参加局登録 <https://forms.gle/tLjxvrms4jDbiyAX9>

- ・有資格スカウトの積極運用&フォローアップ

今年度の JOTA では、アマチュア無線ライセンスを所持しているスカウトが自らマイクを握り、主役として運用・交信を行うことを最優先として推進します！

各団・指導者の皆様は、資格を持つスカウトが自信を持って運用・アクティベーションできるよう技術面・運用面での積極的なフォローをお願いいたします。

- ・連携・裾野拡大(体験運用の実施)

資格のないスカウトにも無線の楽しさを伝えるため、体験局制度を活用した交信体験を併せて推奨・推進します。

- ・体験局として実施を希望される方は、CQ 出版社の Web サイトをご参照・ご活用ください。

CQ 出版社 <https://www.cqpub.co.jp/>

Ⅳ 各地区・各団の活動紹介

1. 富士スカウト 日立市長表敬訪問（日立第8団 熊谷勲）

Scouting 茨城 vol.57 にも掲載していますが、富士スカウトのご紹介を兼ねて、本誌でもお知らせいたします。

9月4日(金)に2025年度富士スカウト章認証スカウト2名(日立第8団 飯村柚月、野口真由奈)が日立市長に認証を受けた報告をしました。

富士スカウト章課目の「ちかい」と「おきて」についての作文を読み、今後の実践を再確認するとともに市長に決意を表明しました。市長からは「たのしい若者だ!」とのコメントがあり、なお一層「より良き社会人」として成長するための励みをいただいております。市長に富士スカウト章認証に際し授与された賞状やバックル等の記念品を披露しながら、終始なごやかな雰囲気の中、会談することができました。

次に続くスカウトの目標となってもらえるよう今後の活躍に期待しております。



2. 熊本地震災害義援金募金活動（ひたちなか第1団 磯崎幸子）

令和8年7月28日16時27分頃、熊本県熊本地方を中心とする大規模な地震が発生し、被災された方々に何かをしなければとの思いから「私たちは何ができるか」を考えて、義援金募金の活動をすることにしました。

8月23日17時より18時まで約1時間、勝田駅東口広場でビーバー隊からボーイ隊までスカウトと指導者約55名で募金活動を行いました。スカウト自身が思いを込めて作った募金箱を手に持ち、道行く方々に義援金募金のお願いをしました。当日はひたちなか祭りの開催日ということもあり、普段よりも人通りが多く、沢山の方々が募金をしてくださいました。



3. 水戸黄門まつり 水戸黄門カーニバルにて審査員特別賞を受賞

(水戸第5団 関原仁美)

水戸黄門カーニバル参加は今年で3回目となりました。

『ごきげん水戸さん』の音楽に合わせてみんなで考えた振り付けで参加しました。振り付けは、カブスカウトらしさを盛り込んでボーイスカウトをアピールしました。暑い中でしたが最後まで笑顔いっぱい踊り切ることができました。

結果、審査員特別賞をいただき、スカウトたちにとって、嬉しい黄門まつりの思い出となりました。



4. 守谷第1団 スカウトの日の活動について（守谷第1団 渡辺俊夫）

守谷第1団では9月13日（日）にスカウトの日の活動を実施しました。

実施場所は守谷駅周辺を4エリア（各約4km コース）に分けて、各隊スカウト（21人）、指導者（17人）、育成者（4人）：計42人の参加者を担当エリアごとに班分けを行い、駅周辺の道路沿い、歩道沿いの環境美化活動を実施しました。

各担当エリアを約1時間半前後かけてゴミ拾いを行い、回収ルートから外れた死物ゴミ（主に空缶43個、ペットボトル39本、ガラス瓶6個など）を資源（活物）ゴミとして、再利用可能なリサイクルルートに戻すことができ、SDGs11（目標 11：住み続けられるまちづくりを）等の取り組みも行うことができました。

今回のスカウトの日の活動に参加したスカウトは、ゴミを拾う経験から環境美化への意識向上にも繋がり、また、スカウトを含め参加者全員が利他精神を伴った一体感のある共同活動にもなりました。今後も住み続けられるまちづくりに貢献できる社会奉仕活動を推進していきます。



5. チャレンジ章制覇！（つくば第3団 末富崇弘）

この度、我がつくば3団クマスカウトの澤内蒼君が、選択課目「チャレンジ章」のすべてを完修し、「スーパーカブ」の称号を与えられました。隊の全員からも、温かい拍手が送られました。「スーパーカブ」の称号については、県連の過去の記事を拝見しても、さまざまな意見があることは承知しており、我が隊でも、過去にチャレンジ章を全制覇した後、次の目標を見失ってしまった先輩スカウトがいたことも事実です。しかし、蒼君はそうではありません。

皆の前で本人が発表したとおり、「水泳選手」のチャレンジ章を取得するにあたり、「立ち泳ぎが2分間以上できる」という項目で悩みました。スイミングスクールでは、立ち泳ぎを教えていないからです。そこで、ご両親に相談して水球クラブの体験に参加したところ、そこで彼の水泳の資質が目にとまり、選手としてスカウトされました。そして今では、ゴールキーパーとして関東大会に出場するまでになっています。チャレンジ章への挑戦がきっかけとなり、一人のスカウトが持っていた潜在能力を引き出し、それを開花させることができた…スカウト運動に携わる者として、これほど嬉しいことはありません。

正直なところ、我が隊では、チャレンジ章の取得に向けたプログラムを十分に実施できているわけではありません。今回の結果は、本人の何事にも積極的に取り組む強い意志と、それを温かく支えてくださったご家族のサポートがあってこそ成し遂げられたものだと考えています。

以上の理由から、つくば3団では、蒼君のこれまでのたゆまぬ努力と果敢に挑戦する姿勢を称え盛大に表彰いたします。これからも、仲間と共に様々なことに挑戦し、自分自身の可能性をさらに広げていってくれることを、一同心より願っています。



6. 第4地区 日本赤十字社 救急法救急員養成講習（神栖第1団 富田弘司）

野外を主な教場とするボーイスカウトの活動では、安全危機管理面での備えが必要不可欠です。その中でも、活動現場での急な怪我や疾病に対する的確な応急措置のための技能や知識の習得は、ボーイスカウト成人指導者にとって優先度の高い事項です。スカウト一人一人にとってもぜひ身につけて戴きたい事項です。このため、茨城県連盟においては、スカウトや成人指導者を対象として救急法講習会や各種セミナー、安全危機管理講習等を継続的に企画、運営しています。

一方で第4地区においては、成人指導者達の安全・救急救命に関わる関心や自覚の低下を懸念する声が近年挙がっていました。そこで今年度、つくば第1団柏原団委員長(地区委員長)からご提案戴き、日本赤十字社の「(救急員)赤十字ファーストエイドプロバイダー」の取得を皆で目指すこととして、6月13日(土)・20日(土)・7月4日(土)の3回に分け日赤の講習会を招致しました。

つくば市荃崎交流センター(別館会議室)を会場として「救急法基礎教習」「救急員養成講習①」「救急員養成講習②」の総講習時間14時間及び筆記試験と実技試験の検定付きというなかなかハードな講習会でした。内容は、手当の基本、胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使用法、気道異物除去、急病の手当て、止血、三角巾の使い方、けが、傷の手当、骨折の手当、搬送の方法、等多岐にわたりました。

検定結果は1ヶ月後に発表され、途中やむなく欠席となった1名を除いて、参加した20名が

無事赤十字ベーシックライフサポーターと赤十字救急法救急員(赤十字ファーストエイドプロバイダー)の資格を得ることができました。

スカウティングに関わり子供を守る指導者として、身につけておくべき知識・技能であり、日常生活の中でも役に立つものであると思います。これからは実践を心がけてゆきたいと思っています。



6. 第6地区 IB-GP 地区大会を実施しました！（取手第3団 中野優子）

県内でいちばん早い開催となった地区大会。スカウトも大人も準備期間は十分とは言えませんが、それを感じさせない白熱の大会となりました。

今回の大会は速さを競うだけでなく、「自分の愛車を存分に走らせて欲しい」という願いを込め、初めて本戦コースとは別に「フリーサーキット場」を設置しました。1回戦で敗退してしまったスカウトは自分の愛車の走る雄姿を何度も眺めたり、レース前のスカウトは愛車の出来具合を確認したりと大賑わいの様子でした。



そして、6地区 IB-GP の名物と言えば、こちら！
参加者を飽きさせないユーモアたっぷりの名司会！
この名司会のお陰で、6地区の大会は毎年盛り上がり
に拍車がかかっています。
この名司会には隠れファンがいるとかいないとか…（笑）
他の地区の方にも是非一度聞いていただきたい！！

当日は地区イベント国際委員以外の指導者や保護者にも
ご協力をいただき、スムーズな大会運営ができました。
たくさんの方にご協力いただき本当に感謝です！

初めての試みも取り入れた今回の地区大会。スカウトの
笑顔とスカウトのために頑張る大人の姿がたくさん見られ
ました。

次年度はもっと多くのスカウトが「IB-GP が楽しみ！」と
言ってくれる大会になる予感が今からしています！

県大会に出場する皆さん、頑張ってください！！



VI 連載コラム ～信仰奨励専門委員会より～

信仰奨励関係の「教育規定の改正」 についてのお知らせ

先般、日本連盟において信仰奨励関係の教育規定が、下記の通り改正されましたので、遅くなりましたが、ここに情報を共有しお知らせいたします。

(信仰奨励専門委員会 委員長 矢作博史)

教育規程の改正

施行細則 第7章 教育の方法 関連
—— 信仰奨励章に関する基準 ——
7-6-1 信仰奨励章の取得要件
第7章 教育の方法
(上記に伴う進級課目の改正)
—— ボーイスカウトの進級課目 ——
7-54 初級
7-55 2級
7-56 1級

2025年 9月 7日 教育推進本部会合承認
2025年10月 4日 第3回理事会承認
2026年 4月 1日 施行

改正理由：次のようなことから、取得が難しくなっているとの意見に基づき、取得要件の表記や表現を見直した。

- ①少ないスカウトと指導者で構成されている団でも取得できるように隊集会、班集会、班活動など限定される表記を改めた。
- ②スカウトタウン・サービスの内容の自分のできる役割、主要な役割等、わかりにくい表現が多いため改めた。
- ③宗教または明確な信仰をもつことの意味を、難しく捉えられるため、取得しやすい表記に改めた。

教育規程施行細則 第7章 教育の方法 関連 信仰奨励章の取得要件

条文番号	現行	条文番号	改正	備考
信仰奨励章の取得要件 7-6-1	信仰奨励章の取得要件は次のとおりとする。 (1) 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。 (2) <u>隊集会やキャンプ、ハイキング等で行うスカウトタウン・サービスに参加する。</u> (初級課目 5. 信仰奨励と共通) (3) スカウトタウン・サービスで、 <u>自分ができる役割を果たし、「ちかや」と「おきて」を日常で実践したこと、感じたことを発表する。</u> (2級課目 5. 信仰奨励と共通) (4) <u>隊集会やキャンプ、ハイキングでのスカウトタウン・サービスで主要な役割を果たす。</u> (1級課目 5. 信仰奨励と共通) (5) 「アンノウンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式（劇、紙芝居など）で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日目の善行」の実践のようすについて話す。 (6) <u>班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。</u> (7) <u>自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀式、宗教行事、またはスカウトタウン・サービスに参加する。</u> (8) <u>自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。</u> (9) B-Pのラストメッセージを読んで、 <u>班集会で話し合う。</u>	信仰奨励章の取得要件は次のとおりとする。 (1) 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。 (2) <u>隊や班の活動の中</u> で行うスカウトタウン・サービスに参加する。 (初級課目 5. 信仰奨励と共通) (3) スカウトタウン・サービスで、「 <u>ちかや</u> 」と「 <u>おきて</u> 」を日常で <u>実践したことや、感じたことを発表する。</u> (2級課目 5. 信仰奨励と共通) (4) <u>スカウトタウン・サービスを行うにあたって、実施内容と手順を考える。</u> (1級課目 5. 信仰奨励と共通) (5) 「アンノウンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式（劇、紙芝居など）で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日目の善行」の実践のようすについて話す。 (6) <u>隊や班で行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実施する。または、要請のあった奉仕活動に積極的に参加する。</u> (7) <u>自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀式、宗教行事を知る。可能であれば参加する。</u> (8) <u>自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。</u> (9) B-Pのラストメッセージを読んで、 <u>隊や班で話し合う。</u>		

教育規程 第7章 教育の方法 ボーイスカウトの進級課目

条文番号	現行	条文番号	改正	備考
初級 7-54	5 信仰奨励 (1) 隊集会やキャンプ、ハイキング等で行うスカウトタウン・サービスに参加する。	初級 7-54	5 信仰奨励 (1) 隊や班の活動の中で行うスカウトタウン・サービスに参加する。	
2級 7-55	5 信仰奨励 (1) スカウトタウン・サービスで、自分ができる役割を果たし、「ちかや」と「おきて」を日常で実践したこと、感じたことを発表する。	2級 7-55	5 信仰奨励 (1) スカウトタウン・サービスで、「ちかや」と「おきて」を日常で実践したことや、感じたことを発表する。	
1級 7-56	5 信仰奨励 (1) 隊集会やキャンプ、ハイキングでのスカウトタウン・サービスで主要な役割を果たす。	1級 7-56	5 信仰奨励 (1) スカウトタウン・サービスを行うにあたって、実施内容と手順を考える。	